

□ □ □ □ □ □ □ □ □

公益社団法人 福岡県人権研究所

“りべらしおん” No. 61 (2023/10/20)

□ □ □ □ □ □ □ □ □

福岡県人権研究所は2024年9月28日で、
前身の福岡部落史研究会創立から50周年を迎えます。

I <報告>

(1) 教育部会

テーマ「コロナ禍後の運動会・体育会について～形式が変わったことなど」

今回は、標記のテーマで協議した。1 (1) 小学校～○福岡市A小学校では、土曜開催。通常通り登校して着替える。①開会式(全員) ②中学年部(走・表現、以下も同じ) ③低学年部 ④ 高学年部 ⑤片付け ⑥下校12:30、となっている。子どもたちは自分の種目が終わったら見学をする。保護者参観者は、自分の子どもが参加するとき応援し、入れ替わって見る。全校種目はない。全校種目に自治体の「～音頭」のみを取り入れたところもある。(2) 中学校(資料報告)～2部に分け、1部が金曜午後から学年協議を実施し、第2部として日曜午前中に、1～3年選手による、①玉入れ②ロープジャンプ③ブロック対抗リレー、などがあった。また、小学校と同様に土曜午前の半日開催もある。(3) 高校～昨年体育館を使ったが、今年は、土曜日の15:00～19:30のナイター開催で、映えした感じであった。2 協議～①半日開催、昼食準備という保護者の負担軽減になった、②教師も負担軽減になり、コロナ禍で入学した4年生以下の子どもたちにはこの形式が運動会スタイルとなっている、③高校のナイター開催は子どもたちにも思い出づくりとしてよかった。また、①運動会そのものをやる必要があるのか子どもの側から考える機会になっている、②体育教師が相変わらず張り切り(大声、叱声)などの復活は問題である。3 まとめ～ルーティンワークで何事も進めがちだった学校教育をコロナ禍後「マスク」(同調的圧力から主体性・自己判断)、全校・学年行事の問い直しが始まり、それは、また「教師の働き方改革」という視点からも考えていく必要がある。

※次回の活動予定：

日時 11月11日10:00～12:00 場所：事務局 内容：狭山事件について(教育課題としての狭山事件)

(2) 史資料プロジェクト

2023年度第5回例会は、「高橋くら子と福岡」という標題で会員の竹森健二郎さんより、提案していただきました。

(一) はじめに、竹森さんは、高橋くら子を調査していたところ、関東の知人：友常さんという方から高橋くら子の夫が堅粕の出身という事を聞いたことが、「高橋くら子と福岡」というテーマで研究するきっかけだったと語られました。

(二) 高橋くら子と全九州水平社との関係、深川武との関係

(三) 高橋くら子関係者からの聞き取り

(四) 質問・意見交流

という流れで会が進行しました。

次回（第6回） 11月11日（土）は西田静さんから提案していただきます。乞うご期待！

(3) 部落解放・人権確立第42回全九州研究集会（報告：塚本）

部落解放・人権確立第42回全九州研究集会が開催されました。

本年2023年は、全九州水平社が創立して100周年に当たります。昨年2022年は、全国水平社創立100周年でした。

第42回全九研は、10月7日（土）・熊本市総合体育館で全体会（一日目）が開催されました。特別講演は、「公害病事件と差別と人権——水俣病」の演題で、講師は熊本学園大学教授の花田昌宣さんでした。また記念講演は、「全九州水平社創立100周年記念と今後の部落解放運動について」の演題で、部落解放同盟九州地方協議会議長の組坂繁之さんでした。熊本市総合体育館会場は参加者でいっぱいでした。

8日（日）分科会（二日目）は、8つの分科会に分かれての研究会でした。ここでは、第4分科会（被差別部落の歴史と現在）：会場（熊本テルサ：熊本県庁の西側に位置する）について、簡単に報告します。午前中は、報告1「熊本県の水平運動」と題して、熊本学園大学・熊本県部落解放研究会の矢野治世美さんでした。当時の熊本県地域を主として発行されていた九州日日新聞や九州新聞の記事を丁寧に紹介していき、熊本における水平運動の提起でした。午後からは、報告2「いつでんよかよ、寄っていかんね。」と題して、嘉島町立嘉島西小学校教諭の高橋海咲の提起でした。ムラのおばあちゃんとの出会いを通して、人と人との繋がりのあたたかさを感じたことを語ってくれました。

その後、意見交流があり、会のまとめを共同研究者の花田昌宣さんがなされました。本分科会は、600席の会場ですが、485名の参加でした。2024年度（第43回全九研）は、佐賀県が当番県です。5月29日（水）・30日（木）に計画されています。

Ⅱ <お知らせ>

(1) <全国大学同和教育研究協議会秋季企画・公開シンポジウム>

「田川・筑豊の被差別部落の歴史と部落解放運動」

日時：11月3日（金） 13:30～17:30

会場：福岡県立大学講堂管理棟1階大講義室

参加費：県内1,000円・県外3,000円

事前申し込み不要

ウェブ：<https://bit.ly/Zendaidokyo>

主催者挨拶 國井哲義さん（全国大学同和教育研究協議会事務局次長・千里金蘭大学名誉教授）
地元歓迎の挨拶 組坂繁之さん（部落解放同盟福岡県連合会委員長・IMDAR 共同代表）・新谷恭明さん（公益社団法人福岡県人権研究所理事長・九州大学名誉教授）

報告1 寺木伸明さん（全国大学同和教育研究協議会副会長・桃山学院大学名誉教授）

「筑前・豊前の前近代の部落史——関西の部落史と比較しながら」

報告2 森山沾一さん（前福岡県人権研究所理事長・福岡県立大学名誉教授）

「田川・筑豊の近代部落史・部落解放史——石炭産業とのかかわり・水平運動の展開を中心として」

報告3 原 伸一さん（部落解放同盟福岡県連合会副委員長・打ち合わせ中）

「田川・筑豊の戦後の部落解放運動——鉱害闘争・行政闘争から今日まで」（仮題）

報告4 河西千津美さん（部落解放同盟福岡県連田川地区協議会女性部）

「田川・筑豊における識字・保育運動の歩み——自分の体験的活動を中心に」
司会 ハヤシザキ・カズヒコさん（福岡教育大学教員）

(2) ふれあいフェスタ 2023×第16回北九州市障害者芸術祭
北九州市制60周年記念 ふれあいフェスタ 2023 に福岡県人権研究所もブース出展いたします(全九州水平社創立100周年パネル展)。図書販売もいたします。

たくさんのお来場をお待ちしています！！

日時:11月19日(日)

ふれあい広場 11:00～16:30 (当研究所ブースあり)

ふれあいステージ 13:00～16:30 (大ホール開場予定 12:30～)

会場:ウェルとばた 2・3階(当研究所ブースあり)

大ホール、交流プラザほか

(北九州市戸畑区汐井町1-6(JR戸畑駅前))

※事前申し込みなし

※入場無料

【イベント詳細】

https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/file_0534.html

(3) 小正路淑泰『田原春次と堺利彦農民労働学校——社会民主主義派の水平運動と農民運動——』出版記念講演会

日時:11月23日(木・祝) 13:30～15:30

内容:演題「部落史研究における本書の意義」

講師:竹森健二郎さん

演題「田原春次と曾祖父」

講師:平原守さん

演題「わたくしの部落史研究」

講師:小正路淑泰さん

参加費:無料

会場:香春町町民センター2階 第1・2会議室

(福岡県田川郡香春町大字高野 987-1)

※小正路淑泰『田原春次と堺利彦農民労働学校——社会民主主義派の水平運動と農民運動——』(花乱社)をテキストとして使用しますので、ご持参ください。なお、同書は会場で販売します。

(4) リベラシオン 191号で朴康秀さんが紹介されていた三松園遍照院 石仏の清掃のお願い(三好炭鉱犠牲者の慰霊)

炭鉱の歴史の記録、調査、そしてこの地域で犠牲になった人たちの慰霊の気持ちをこめて、山道、石仏の清掃、草むしり作業を行います。関心のある方は、参加、ご協力をお願いいたします。

日時:11月23日(木・祝) 13:00～

場所:三松園遍照院

(北九州市八幡西区三ツ頭1丁目11-20)

連絡先:朴(パク) 090-2390-2480

森川 090-4487-9114

※汚れてもいい格好、軍手（必須）、運動靴などでご参加ください。出来れば、草木をはらうカマヤ、ツタ、石仏の汚れを払うハケ、ブラシなどを持ってきてください。

※雨天の場合は延期です。

(5) エイミ・ツジモトさん 講演会 in 福岡

「満州 来民（くたみ）開拓団の惨劇を現代に問う」

～侵略に利用された差別、折り重なる加害と被害～

1941年に入植した熊本県来民開拓団は、被差別部落を対象にした満州開拓移民の模範例作りのため国の融和政策によって進められたものだった。のちに分村計画としても追加募集され、総勢300人余の開拓団となる。1945年8月17日、現地住民からの襲撃を受け、攻防の末に追い込まれた究極の選択が、一人を残しての275人全員自決。その壮絶な最期を伝える役として一人生還した宮本貞喜。彼が息絶え絶えに辿り着き越冬したのが、岐阜県黒川開拓団であった。黒川開拓団の女性たちの性被害にもつながっていく来民開拓団の歴史をひも解き、国策と差別、戦争と人間を問う。

日時：11月26日(日) 13:30～16:30

13:30～ 「275人の遺書配達人」DVD上映(約30分)

14:00～ 講演会「満州 来民開拓団の惨劇を現代に問う」

講師：エイミ・ツジモトさん(国際ジャーナリスト)

参加料：1000円(学生：無料)

会場：西南学院大学2号館2階201教室

(地下鉄西新駅から徒歩8分)

問合せ：エイミ・ツジモトさん講演会 in 福岡実行委員会

090-2390-2480(パク)

sillakangsoo1919.3.1@hotmail.co.jp

(6) 2023年度「啓発担当者のための人権講座」

日時：12月1日(金)13:00～16:30(受付12:30～)

内容：演題「世界の人権、日本の人権 ～これからの人権～」

講師：横田耕一さん(九州大学名誉教授)

受講費(資料代を含む)：2000円 研究所会員1000円

会場：福岡市立中央市民センターホール

(福岡市中央区赤坂2-5-8)

【イベント詳細】

<http://www.f-jinken.com/event.html>

【参加お申し込みフォーム】

<https://forms.gle/yCHx65Y4ZiJi5cpm6>

(7) 9月25日(月)21時～テレビ朝日 ABEMA Prime(ネットテレビ)に川口泰司さんがご出演され、川口さんの新刊『「寝た子」はネットで起こされる!?!』(福岡県人権研究所)が紹介されました。以前、『リベラシオン』144・186号に東日本大震災被災地支援についてご執筆された片岡遼平さんもお出演されています。以下のサイトでご視聴いただけます。

https://www.youtube.com/watch?v=o0opx_QdRe4

『寝た子』はネットで起こされる！？』お求めはこちら↓
<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/item-detail/1428113>

(8) 当研究所が加盟する福岡県地方史研究連絡協議会の「第57回 福岡県地方史研究協議大会」(テーマ「福岡県の災害一次の世代に語り継ぐ、忘れてはならない歴史3-」)の発表者を募集中です。お問い合わせは、福岡県立図書館ふくおか資料室(092-641-1126)まで。詳細は下記サイトをご参照ください。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/kenlib-20230624.html>

・ イベント

<http://www.f-jinken.com/event.html>

・ 部落史部会

<http://www.f-jinken.com/activity/burakshi.html>

・ 教育部会

<http://www.f-jinken.com/activity/kyoiku.html>

・ ジェンダー部会

10月29日(日)「森崎和江『匪賊の笛』を読む 学習会②」

<http://www.f-jinken.com/activity/gender.html>

・ 外国人部会

<http://www.f-jinken.com/activity/gaikokujin.html>

・ 啓発部会

10月28日(土)「人権問題の解決を、マジョリティ側に焦点を当てて考える」～マジョリティ特権とマイクロアグレッションを事例に～

<http://www.f-jinken.com/activity/keihatsu.html>

・ 海外人権スタディツアー企画部会

<http://www.f-jinken.com/activity/kaigaistudy.html>

・ 部落問題部会

<http://www.f-jinken.com/activity/burakumondai.html>

・ 特別プロジェクト「松本治一郎・井元麟之」研究会

<http://www.f-jinken.com/activity/project1.html>

〔人権研究所 書籍販売〕

新刊『寝た子』はネットで起こされる！？—ネット人権侵害と部落差別—(川口泰司著)

新刊・既刊のお求めはこちらから↓

<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>

当研究所 HP、コラム「羅針盤 PART II」

<http://www.f-jinken.com/index.html>

研究所フェイスブック

<https://www.facebook.com/fukuokajinkenken/>

☆ニュースのバックナンバーは下記研究所公式サイトでご覧いただけます。

<http://www.f-jinken.com/newsliberacion.html>

◇みなさんの投稿お待ちしております。

info@f-jinken.com （登録解除はこちらから）

【公益社団法人福岡県人権研究所は、会員の会費で運営されています。】